

衆参156人民進党発足

岡田初代代表 政権奪取訴え

民主、維新両党の合流による「民進党」の結党大会が27日、東京都内のホテルで開かれ、衆参両院議員計156人が参加する新党が発足した。初代代表に就任した岡田克也氏は「政権交代可能な政治を実現するためのラストチャンスだ」と政権奪取を訴え、参院選や衆参同日選を視野に安倍政権との対決姿勢を鮮明にした。立憲主義の擁護を掲げた綱領や、野党結集を目指した結党宣言を了承。政調会長に若手の山尾志桜里衆院議員を抜てきするなど執行部のメンバーを決めた。

江田憲司前維新の党 衆院補選や参院選、次く「自民党1強」体制の中、安倍政権への対抗軸として、支持を得てを集中する」と明記した。野党の低迷が続く。



岡田氏は大会あいさつで「参院選で政治の流れを変える。代表として全ての責任を負い、必ず結果を出す」と明言。衆院選を同時に行う同日選が実施された場合は「受けて立つ」と述べた。参院選の勝敗ラインについて記者会見で「非生産的だ」として言及を避けた。

民主、維新両党の合流による新党「民進党」の結党大会で、氣勢を上げる岡田代表（中央左）ら。27日午後、東京都内のホテル。任期は9月まで。

(3面に関連記事)

執行役員は9人で、岡田氏らのほか、民主党からは幹事長に枝野幸男、代表代行に長妻昭、運輸両氏ら計5人が横滑りの形で就任し、国対委員長には民主党国対委員長代理から安住淳氏が昇格した。

156人の内訳は民主130人、維新の

「国民と歩む実践」 県内の民進議員

民進党結党を受け、国会議員は「国民と共に歩む党ができた」「政権交代可能な党にする」などとし、4月の二つの衆院補選や夏の参院選、次期衆院選を見据え、自民党政治の打破に向けて誓いを新たにしている。

大畠章宏氏（衆院茨城5区）は「国民と共に進む党ができた」と結党を評価。夏の衆参同日選の可能性がささやかれていることに触れながら、「安倍政権を打ち倒し、国民のための政権をつくらせてやる」と意気込んでいる。

福島伸享氏（同比例北関東）は「器が変わっても中身が変わらないといけない。中身を変えるのは私たちの仕事なので頑張っている」と気を引き締めた。郡司彰氏（参院茨城）は「もう一度政権交代民進党でも引き続きは」もつ一度政権交代

党21人、改革結集の会「存続合併」方式で4人、無所属1人。国発足。結党に先立ち、会法規定で参加できない維新は臨時党大会を開き、解党を決議した。維新の参院議員5人は、新たな参院党派「民進党・新緑風会」に所属する。新党は法的には民主を存続政党とし、維新は約20年で幕を閉じた。新党は法的には民主を存続政党とし、維新は約20年で幕を閉じた。

藤田幸久氏（同）は「政権交代できる野党がない。受け皿となる野党が今日誕生し、政権交代の準備は整った」と述べた。

(高岡健作)